

製品仕様

■全般	
使用条件	周囲温度:10℃～35℃ 相対湿度:20%～80%(非結露) 気圧:800 hPa～1060 hPa
保管・輸送条件	周囲温度:-20℃～60℃ 相対湿度:10%～85%(非結露) 気圧:700 hPa～1060 hPa
消費電力	12 W
測定方式	誘電泳動インピーダンス測定(DEPIM)方式
測定範囲	1×10 ⁵ cfu/mL～1×10 ⁸ cfu/mL
微生物定量値の測定誤差	1×10 ⁵ ～1×10 ⁶ 未満 ±10 ^{0.5} cfu/mL 1×10 ⁶ ～1×10 ⁸ ±10 ^{0.25} cfu/mL
培養法との相関性	機器と培養法の相関係数(R): 0.85 以上
測定可能導電率	5 μS/cm～400 μS/cm
測定時間	約1分(懸濁時間含む) ※ただし、測定環境条件などにより1分30秒程度かかる場合もあります。
最大測定結果データ蓄積数	5000件

■機器本体	
本体寸法	幅:144 mm×高さ:147 mm×奥行き:189 mm
質量	約 1.3 kg

■ACアダプター／電源コード	
定格入力	交流 100 V 50-60 Hz
定格出力	直流 12 V 3 A
寸法	幅:50 mm×高さ:33 mm×奥行き:99 mm (コードを除く)
質量	約 0.3 kg (ACアダプター及び電源コード一式)
ACアダプター	長さ:1.5 m
電源コード	長さ:1.8 m

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。
※本機の結果は診断内容を示すものではありません。
※一般医療機器ではない類似品にご注意下さい。

付属品・測定消耗品

■付属品
定圧検体採取器具 ……1個 電源コード ……………1個 ACアダプター ……………1個

■別売品
専用測定消耗品 1箱
(センサーチップ100本、ディスプレイカップ100個、滅菌綿棒105本)
品番:N-DP05
一般医療機器 医科用捲綿子 届出番号: 13B2X10654000004



口腔内細菌カウンタ専用
定圧検体採取器具 1個
品番:N-DP02



口腔内細菌カウンタ専用
ACアダプター
品番:N-DP03
ACアダプター1個／電源コード1個



⚠ 安全に関するご注意

●ご使用の際は、添付文書および取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。 ●このカタログに記載の商品は医療従事者向け商品です。
(1)本機は医療機器であり、使用者は操作を熟知する必要があります。(2)定期的に機器の点検を行ってください。

保証書に関するお願い ●商品には保証書を添付しております。ご購入の際は、必ず保証書をお受取のうえ、保存してください。尚、店名、ご購入期日の記載のないものは無効となります。

パナソニックグループは環境に配慮した製品づくりに取り組んでいます。 詳しくはこちら Panasonic GREEN IMPACT

省エネ 省エネを徹底的に追求した家電製品をお客様にお届けし、商品使用時のCO₂排出量削減を目指します。

省資源 新しい資源の使用量を減らし、使用済みの家電製品などから回収した再生資源を使用した商品を作り、資源循環を推進します。

化学物質 パナソニック製品は、特定の環境負荷物質[※]の使用を規制するEU RoHS指令の基準値にグローバルで準拠しています。 ※鉛・カドミウム・水銀・六価クロム・特定臭素系難燃剤・特定フタル酸エステル

■お問い合わせとご用命は…
このカタログの内容についてのお問い合わせは左記のご販売店様にご相談ください。
または、以下のヘルプデスクにお問い合わせください。
口腔内細菌カウンタヘルプデスク
0120-878-857
このカタログの記載内容は
2026年4月20日現在のものです。
NP-JJMB2604

●製品の色は印刷物ですので実際の色と若干異なる場合があります。 ●製品の定格およびデザインは改善等のため予告なく変更する場合があります。
●実際の製品には、ご使用上の注意を表示しているものがあります。
この印刷物は当社の「紙・印刷物グリーン購入ガイドライン」に適合しています。

Panasonic

微生物定量分析装置 保険適用

口腔内細菌カウンタ
NP-BCM01-A

口腔細菌定量検査を
短時間で簡単に



短時間



簡単操作



一般医療機器

特定保守管理医療機器
医療機器届出番号: 13B2X10654000003

詳しくはHPへ >>
<https://dental-washer.jp.eww.panasonic.com/bacterial-counter.html>



歯科医院で

訪問
歯科診療の
場で

様々な現場で口腔機能の診察にお役立ち

口腔内衛生状態、口腔バイオフィルムに対して
口腔内の細菌定量検査ができます

口腔内細菌カウンタはDEPIM法を用い
口腔内の総菌数*を約1分で定量的に計測する機器です

口腔内細菌カウンタの
使用目的又は効果

診療を目的として口腔から採取した試料中の微生物を電気インピーダンスにより
定量する半自動の装置です。

*検体1 mLあたりの細菌濃度 [cfu/mL] に換算して測定 (菌種の同定は行いません)。

短時間

細菌検出技術「DEPIM」により、約1分※¹で
培養法と同等※²の細菌数測定結果が得られます。

■誘電泳動力で細菌を電極にトラップ

※細胞壁が帯電されていることを利用

●…細菌
→…誘電泳動力
■…微細加工電極

センサーチップ

電圧印加とインピーダンスの計測

電極間のインピーダンス変化を測定

電圧印加により
細菌を電極に捕集、
それによりインピー
ダンスが変化

電圧印加前

電圧印加後

●イラストはイメージです

簡単操作

特別なノウハウ不要で簡単に検査、
コンパクトサイズで訪問歯科診療の場でも活躍

1

センサーチップを機器本体の挿入口に挿入します

2

ディスポーザブルカップを機器本体の取付部にセットします

3-1

舌上からの検体採取方法

滅菌綿棒を定圧検体採取器具にセットして口腔内の舌上の検体を採取します

3-2

舌下からの検体採取方法

舌下部に滅菌綿棒を10秒間静置し、唾液を滅菌綿棒に吸収させます

4

滅菌綿棒をディスポーザブルカップにセットします

5

「カチッ」と音がするまで、ふたを手で閉めます (自動的に測定モードになります)

6

測定が終了すると「ピーッ」と音が鳴り、自動でふたが開きます

7

(例)
測定が終わるとフェイスマーク表示部および液晶画面に測定結果が表示されます

●測定後、使用済みセンサーチップと滅菌綿棒・ディスポーザブルカップ内の測定溶液は、各自治体や施設の廃棄区分に従って処理してください。 ●イラストはイメージです

DEPIMとは

DEPIM(DiElectroPhoretic Impedance Measurement)は誘電泳動で液体中の細菌を電極に捕集させ、インピーダンスの変化を計測して検体1 mL中の細菌濃度 (cfu/mL) に換算し、定量的に細菌数を計測できる測定方法です。

【保険適用について】

D002-6
口腔細菌定量検査

D002-6
口腔細菌定量検査とは、舌の表面を擦過し採取されるもの又は舌の下部から採取された唾液を検体として、
口腔細菌定量分析装置を用いて細菌数を定量的に測定することをいう。

1 口腔細菌定量検査1 130点

「1.口腔細菌定量検査1」は、次のいずれかに該当する患者に対して
口腔バイオフィルム感染症の診断を目的として実施した場合に算定できる
イ. 在宅等において療養を行っている患者
ロ. イ又はハ以外の患者であって、入院中のもの
ハ. A000に掲げる初診料の(16)のイ、ロ、ニ若しくはホの状態又はA002に掲げる再診療の(8)のイ、ロ、ニ若しくはホの状態の患者

口腔細菌定量検査1において口腔バイオフィルム感染症と診断された場合

2 口腔細菌定量検査2 65点

「2. 口腔細菌定量検査2」は、問診、口腔内所見又は他の検査所見から加齢等による口腔機能の低下が疑われる患者に対し、
口腔機能低下症の診断を目的として実施した場合に算定する。

(令和6年保医発0305第4号「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」別添2「歯科診療報酬点数表に関する事項」より抜粋)算定に関する詳細は、
上記引用元の「区分番号:D002-6口腔細菌定量検査」をご参照ください。

I030-3 口腔バイオフィルム除去処置(1口腔につき) 110点

・口腔バイオフィルム除去が必要な患者に対して、歯科医師又はその指示を受けた歯科衛生士が口腔バイオフィルムの除去を行った場合に、月2回に限り算定する。
・口腔バイオフィルム除去処置を算定した月において、区分番号I010に掲げる歯周病処置、区分番号I1011-2に掲げる歯周安定期治療、区分番号I1011-2-3に掲げる歯周病重症化予防治療、区分番号I1029に掲げる歯周術期等専門の口腔衛生士処置、区分番号I029-1-2に掲げる回復期等専門口腔衛生士処置、区分番号I1029-2に掲げる在宅等療養患者専門の口腔衛生士処置、区分番号I030に掲げる機械的歯科清掃処置及び区分番号I030-2非経口摂取患者口腔粘膜処置は別に算定できない。
(令和6年厚生労働省告示第57号 診療報酬の算定方法の一部を改正する告示 別表第二「歯科診療報酬点数表」より抜粋)算定に関する詳細は、上記引用元の「区分番号:I030-3 口腔バイオフィルム除去処置」をご参照ください。

■口腔バイオフィルム感染症とは

・身体機能の低下による口腔清浄能力の低下や口腔機能の低下、免疫力の低下等により口腔内バイオフィルムが著しく増加した状態。
・歯科疾患、口腔粘膜疾患、誤嚥性肺炎の発症や重症化リスクは、口腔内細菌の量と質によって決定づけられる。
・在宅等において療養を行っている患者や入院患者、障害(児)者などにおいて、口腔内の著しい汚染がみられることがある。
・口腔内の汚染の原因の一つは、口腔内細菌の著しい増加である。

(日本歯科医学会「令和6年3月 口腔バイオフィルム感染症に関する基本的な考え方」より抜粋)

測定結果は7段階フェイスマーク表示と測定数値のダブル表示

■フェイスマーク表示部とレベル表示

7種類のフェイスマークと数値で測定結果表示

(少ない) ← (多い)

レベル1

レベル2

レベル3

レベル4

レベル5

レベル6

レベル7

10万個未満 10万～100万個未満 100万～316万個未満 316万～1000万個未満 1000万～3160万個未満 3160万～1億個未満 1億個以上

※細菌濃度 [cfu/mL] に換算。その換算値を「個」と表記しています。

■液晶画面表示部(測定数値)

8.70×10の6乗(8.70×10⁶ cfu/mL)
= 870 万個

※測定結果は、検体採取方法または使用条件や測定条件により異なります。

表示例

液晶画面表示部に希釈液 1 mL あたりの細菌数が表示されます。

測定結果が3.16×10⁶ cfu/mLのとき
「レベル4」が点灯

測定結果が1.00×10⁷ cfu/mLのとき
「レベル5」が点灯

パソコンでデータ管理可能

■保存データ

・測定結果は5000件までのデータを機器本体に保存します
データ項目:日時・細菌数・レベル
・推奨のテンキーを接続すると、ID(12桁)・性別・年齢が同時に保存できます
・推奨のテンキーについては取扱説明書をご参照下さい

■保存データのパソコン取得

・細菌カウンタユーティリティソフトをパソコンにインストールし、USB接続ケーブル(市販品)で本体とパソコンを接続すると、本体で保存していたデータをパソコンに取り込むことができます
・詳細は口腔内細菌カウンタユーティリティソフト取扱説明書をご参照下さい

ユーティリティソフトのダウンロードはこちら >> <https://dental-washer.jp.eww.panasonic.com/bacterial-counter/download/kiyaku.html>

テンキー※¹

USB接続ケーブル※²

細菌カウンタ本体

パソコン

※1 テンキー (市販品)USB2.0対応 Aタイプ
※2 USB接続ケーブル(市販品)USB2.0対応 Aタイプ:ミニBタイプ-5Pin